

「東京真田町の会」会報

# 日本タボス

平成 26 年 12 月 27 日



## 信綱寺の山門

… 見事な造りで鎮座…

NO.

27

# ふるさとの風景



根子岳から管平高原を望む



真田本城跡から町中心部を望む



根子岳から烏帽子岳・湯の丸を望む



# 「あ い さ つ

会長 山口元彦

(横沢出身)



こんにちは！ 皆さまお健やかにお過ごしでしょうか。

日頃は会の運営につきたいそうお世話になり、また、上田市の皆さまには温かいご支援を賜っており、心より感謝申し上げます。

五月二十五日の総会・懇親会には、多数の皆さまがご出席下さり、ふるさとからも母袋市長様、下村市議会議長様をはじめとするトップの方々にご列席賜わり、充実した会にすることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

総会の直前に、平成二十八年のNHK大河ドラマが、真田幸村公を主人公とする「真田丸」に決まったと報道されました。総会出席者一同心から喜びを分かち合いました。市長様からは署名活動やNHKへの要請活動の苦労話と、今後の上田市で

の取り組みなどについてお話を伺うことができました。

また、新しい交流文化芸術センター・市立美術館が10月2日に開館されること、それにより、上田市が文化芸術の面でも全国に発信できることなどの抱負も伺いました。ふるさとの誇りがひとつふえる思いが致します。

ふるさと訪問旅行は十一月九日・十日に行われ、二十名が参加しました。長谷寺にて、真田地域自治センター次長藤沢様ほか職員の方のご案内とご住職のご説明を受け、真田幸隆公、昌幸公の墓所を参拝し、真田一族への思いを新たにするとともに、大河ドラマへの期待を膨らませました。また、自治センターから参加者全員にきのこセットのお土産をいただきました。長谷寺様及び自治センター様に心から御礼申し上げます。和田宿で本陣を見学してから宿泊地の白樺湖に向かいましたが、ピナーラインは濃い霧に包まれて景色どころではありませんでした。しかし翌日は晴天に恵まれ、蓼科チーズケーキ工房でお土産を買った

り、八ヶ岳の「まきば公園」でアルプスの山々の景観を楽しみ、佐久のびんころ地蔵に「ピンピンころり」と逝かせてもらえるよう祈りました。

ところで、稿を改めて掲載しておりますとおり、当会の財政状態はたいそう厳しく、心ならずも皆様に会費の増額をお願いすることになりました。まことに恐縮ですが、ふるさとを同じくする人々の気の置けない集まりである当会の存続発展のため、どうかご協力賜りますようお願い申し上げます。

ふるさとの力強い発展と、真田一族が今なお全国のたくさんの人たちに感銘を与えている事実を心よりどころにして、これからも東京真田町の会を盛り立ててまいります。

## 品格・風格・魅力あふれる上田市に向けて

上田市長 母袋創一



る署名をいただき、七回にわたりNHKに直接お届けしてきましたが、こうした取組がようやく実を結んだものであり、この上ない喜びであります。東京真田町の会の皆様におかれましても、総会などの折に触れ、署名に御協力をいただき、誠にありがとうございます。

東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

また日頃から故郷にお寄せいただいております温かい御支援と御協力に心から感謝申し上げます。

さて、二〇一六年NHK大河ドラマに真田幸村公の生涯を描く「真田丸」の放送が決定いたしました。これまで全国の真田ファンから八三万を超え

併せて、観光面で大きな転機となる来年三月の北陸新幹線金沢延伸や善光寺の御開帳もございます。大河ドラマ放送という絶好のタイミングを捉え、誘客活動を効果的に展開し、「上田ファン」の拡大を図ってまいります。また、待望の「サントミューゼ」(交流文化芸術センター及び市立美術館)が、一〇月二日に堂々オープンいたしました。地元木材を使用した大小ホー

ル、美術館、芝生公園からなる全国有数の複合施設であると自負しております。

「人・まち・文化」の育成を基本理念に据えたこの施設を拠点に、文化振興を図ることはもちろんのこと、「文化創造都市」の実現を目指してまいります。

皆様の故郷真田地域の菅平高原は、ラグビー合宿の聖地として全国の強豪が集うことで有名ですが、本年もラグビー日本代表の強化合宿が行われました。二〇一九年には日本でラグビーワールドカップが開催されるため、そのキャンプ地を菅平高原に誘致できるよう、地元の皆様とともに取り組んでまいります。

また、二〇二〇年東京オリンピックなど、国際的なスポーツ大会のキャンプ地・事前合宿の誘致に向けても取り組み、「世界の菅平高原」の実現を目指すとともに、上田市全体の活性化につなげてまいります。

今後、取り巻く環境の変化を見据えて、市民の皆様との協働の理念のもと、品格、風格が漂い、魅力にあふれ、市民誰もが「住んでいて良かった」と誇れる上田市の実現に向けて前進してまいりますので、皆様には、ふるさと上田市をあたたく見守っていただき、引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々の御発展と会員の皆様のお多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつと致します。

## 「市民の中の」議会として

上田市議会議長 下村 栄



五月に、上田市議会議長として東京真田町の会にお招きいただいた際には、変わらぬご厚情を頂戴し、感謝申し上げます。また、「日本ダボス」の発行は回を重ね、第二十七号を数えることとなりましたことに対し、お喜び申し上げますとともに、会員皆様有意義的に活動を続けておられることに對しまして、敬意を表します。

さて、上田市議会は、新市の議会として生まれ変わりましたから第三期目となり、メンバーも三分の一が入れ替わる中で、自ら制定した議会基本条例の趣旨に沿って、「市民の中の議会」であり続けようとしております。今後、市議会の使命であります市政の監視機能を果たす一方で、市民の意見を市政に反映させるため、上田市の議会としてどうすべきかを考え、行動してまいります。

そのような中で、十月に「議会報告

会」を市内九会場で開催いたしました。この報告会は開催四年目を迎えるものですが、議会の活動内容を市民に提供するとともに、市民意見を把握する貴重な場と位置付けており、今年も、大勢の市民の方にご参加いただき、議会活動の報告を行うとともに、意見交換を行なうことができました。

真田中央公民館の会場では、ラグビーワールドカップキャンプ地誘致、歩道の除雪対策、松くい虫対策、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を契機とした地域振興についてご提言、ご意見をいただきました。全市的には、これらのほか、資源循環型施設の建設促進、地域内分権実現への道筋についてのご提言やお問い合わせが多かったという印象を持っていますが、市議会といたしましたが、これらを受け止め、検討し、市政に反映させていきたいと考えております。

これからの真田地域を考えますと、歴史上名高い戦国武将である真田家発祥の地であること、菅平高原という、夏季、冬季を問わず、多くの人々にスポーツの楽しさを提供できる地があるということから、シティブロモーションの観点からしても、上田市の魅力として発信できるものを多く持つて

おり、全国から人を引きつけることができる可能性が高いと感じているところでもあります。

このような中で、東京真田町の会の皆様、ふるさとを外から見る視点において、上田市がどう映り、どのような印象をもたれるのかは、今後の上田市を形づくる上で、市民意見とともに、大変貴重な材料となると考えておりますので、東京真田町の会の皆様におかれましては、今後とも末永く上田市を見守ってくださるよう、お願いいたします。

末筆ながら、この会報を通じて皆さんの交流がさらに深まり、東京真田町の会が益々発展されますことを心から祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### 真田氏発祥の

### 故郷へようこそ

上田市議会議員

古市 順子

真田の郷も秋が深まり、冬の準備が急がれる頃となりました。今年も5月の総会の折は、大変あたたく迎えていただき、ありがとうございます。

真田町は「上田市」となつてから、9年目です。3月末には市会議員選

挙があり、私は3期目となりました。真田地域出身議員は3名で私が年長者ですが、地域の課題には共に取り組んでいきたいと思えます。

さて、今年の真田地域の話題は、何といっても平成28年にNHK大河ドラマ「真田丸」放映が決まったことでしょう。真田氏発祥の郷として、観光客の受け入れ態勢のハード



面、ソフト面の整備が急がれる状況です。今年の各自治会の「地域づくり委員会」でも関連の要望が多く出されています。9月議会の補正予算では、長年の懸案であり、私も議員になった当初から要望していた御屋敷公園トイレ・真田氏本城址トイレ整備の設計委託料、また真田氏歴史館駐車場整備（不動産鑑定、用地購入費）古城緑地広場駐車場整備が可決されました。ソフト面では、交通、物産・土産、食事、観光ガイド、イベント、PR関係、住民学習等多くの課題があり、真田地域自治センターを中心に検討されています。行政がスピーディに進めることが

求められますが、それだけでなく、ここに住む私たち住民が来訪者を歓迎し、もてなす機運の醸成が大切だと思います。つい先日は「ゆきむらロマンウォーク」が行われ、我が家の前もコースとなりました。朝、枯草をとっていたら、もう歩いてくる方がおられ、あいさつも交わしました。なかなか道筋の整備が行き届きませんが、心がけたいと思います。庭のあやめが込み過ぎたようなので掘り返して少しずつですが、道筋に植え始めました。

また「地元特産物の土産がほしい。」という声があり、真田自治センターから、地域の活性化組合に売店の呼びかけがありました。毎年野菜まつりを行っている竹室活性化組合も参加し、3組合で7月19日から、11月末までの土日祝日、歴史館裏口で「ゆきむら市」として出店しています。私も数回ですがお手伝いして、観光客の方と話しました。訪れた方々にとっては、この真田の郷の豊かな自然に恵まれた、のどかな雰囲気と、住民とのふれあいも旅の楽しみでしょう。会員の皆さんもお知り合いを故郷にご案内いただけたいと思います。最後になりましたが、皆様にはますますお元気で、ご活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

## ふるさとから

上田市議会議員

三井 和哉



暑い夏から一気に寒くなり、今年はまだ秋がなかったかのような陽気でしたが、東京真田町の会の皆様はお変わりなく、ご健勝でおられることとお慶び申し上げます。

いつもは5月の総会の際に親しく懇談させていただき、皆様のお話に耳を傾けるのを楽しみにしておりますが、本年私は岡保自治会長に選出され（といっても40戸ほどの小さな集落ですが）、「第27回真田町の会 総会」の日が自治会の行事と重なってしまい、出席できず残念でした。

ところで、上田地域で降った2月の大雪には本当に困りました。みるみる雪が積もり、自治会にある5台の除雪機はフル回転でしたが、県道に併設されている歩道を500メートルほど掃いて、『ヤレヤレ』と

振り返ると、もう15センチくらい積もっているのです。

私が小さいころは今より降る量が多かったと記憶していますし、皆様も真田の郷にいた頃は、このくらい普通に降っていたのかもしれないが。

これを契機に、真田地域独自の取り組みだった、除雪機を自治会で購入する際の市からの補助率80%が、全市に拡大適用されることになり、他地域の自治会からも喜ばれています。

ただ、機械を使つて行うにしても、身の回りにおける生活道路の除雪をするのは住民自身ですから、「自分たちのことは自分たちでやる」、「困っている人がいたら手を貸す」という共助の精神を廃れさせないようコミュニケーションを大切にしていかなければ、と雪と格闘しながら思いを新たにしました。

そして皆様が帰られた時に、『やっぱり故郷はいいな』と思ってもらえるような温かい真田地域にしたい、とも改めて思いました。

とりとめのないことを書きましたが、またお会いできる日を楽しみにしつつ、「東京真田町の会」の皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念いたします。



# 「あいさし」

上田市議会議員

佐藤 論征



本年三月三〇日の市議会議員選挙で初当選し、四月から市議会議員を務めさせていただいております。父は真田町議会議員、上田市議会議員で長年お世話になりました佐藤公至でございます。今後とも皆様には大変お世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年五月二十五日の総会に議員として初めてお招きいただき参加をさせていただきました。皆様のことまでも故郷を大切にしてください。思いに接し、大変楽しい時間を過ごさせていただき、大変ありがとうございます。

ご存じの通り真田地域は、再来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放映決定、ラグビーワールドカップキヤンプ地誘致など、長野県内のみならず、全国からも注目されております。市としても千載一遇のチャンスととらえ、真田地域を中心に上田市全体として地域発展の足掛かりとして取り組んでおります。

真田地域におきましては早速観光拠点周辺の施設整備などが予算化され、これから整備が急ピッチで進められていきます。

地域での経済効果、継続的な観光客の向かい入れの対策などしつかりチャンスをとらえてまいります。

また、真田地域において、長年の悲願でありました、渋沢・大日向地区のつちや水源の水が、渋沢・大日向地区の皆さんが次世代へ大きな財産として残したいとの思いから、長・本原地区へ水道水として供給されることになりました。真田町にとりまして大変大きな財産、資源となり、日本一の水が水道水として使用できるようになります。

真田地域にとりまして、喜ばしい機会・時期が立て続けにやっております。故郷を離れてご活躍の皆様が、誇れる故郷創りをこれまで以上に進めてまいる所存でございます。上田市に住む者は住んでいるからこそ見逃しがちなことが多々ございます。皆様には客観的な見地から今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々のご発展と、会員各位のご健勝を心よ

りご祈念申し上げます。

## 東京真田町の会の

### 総会に出席して

上田市議会事務局長

片岡 文夫



本年1月に議会事務局長を拝命しました。春に開かれた東京真田町の会総会に初めて出席をさせていただきました。皆様のお元氣な姿とふるさとに対する熱い思いに接して感激しました。あれから早いもので半年が過ぎようとしています。

議会事務局は市役所本庁舎の5階にあり、窓から太郎山、虚空蔵山の山並みが大変よく見えます。今は紅葉がきれいです。太郎山といえは、今年も熊が出ました。10月24日のお昼ごろ、太郎山を下山中の保育園児3人を引率していた男性保育士が熊1頭を目撃して、山頂付近のトイレに避難し全員無事でした。熊は

そのまま山に消えました。今年は県内で熊の出没が例年になく多く、人身被害も相次いでいる状況です。まずは人身を守ることが第一、その上で熊を捕殺せず山に返すことはできないものかとも思うこの頃です。

さて、上田市議会では今年の3月に、合併してから3回目の選挙がありました。今回の選挙から議員定数を1減らして30としました。当選した議員の年齢構成を見ますと、一番多い年代は50代の11人です。今回は20代が2人、30代が1人と若い議員も誕生し、全体の平均年齢は55・7歳となりました。これは改選前の62・0歳から6歳ほど若返っています。近年の地方議会選挙では、候補者不足による無投票などが新聞で話題になりますが、上田市議会は定数30に37人が立候補し、活気を感じました。

また、この4月から上田市議会の議会基本条例が施行され、市長部局とともに上田市発展の一翼を担う議会が常に議会改革に努め、市民代表の議会としての機能を発揮すべく取り組んでいます。その一環となり「議会報告会」も今年で4回目を迎えました。今年は10月20日から26日まで市内9会場で開催し、387人の方に出席をいただきました。真田地区は25日、土曜日の夜7時から真田中央公民館で開催し、出席された37人の皆様と質疑や意

見交換を行いました。議会は市民の代表ですから、議員個人だけでなく、議会という機関が市民の皆様と直接向き合うことに意義があります。今後も、地方分権にふさわしい議会として、ふるさと上田の発展をめざし、わたしたち事務局職員も力を尽くしてまいります。

おわりに、東京真田町の会の益々の御発展と、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## 真田地域の

## 近況について

真田地域自治センター  
地域振興課

伊藤 岳彦



本年4月から東京真田町の会の事務担当を仰せつかりました伊藤岳彦と申します。大変微力ではありますが、皆様方と交流を深めていけたら

と思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

5月には初めて東京真田町の会総会に参加させていただきました。懇親会では皆様の温かい歓迎をいただき、誠にありがとうございました。私のような若輩者に山口会長はじめ会員の皆様に気軽に声をかけていただき、大変嬉しく楽しいひと時を過ごしてまいりました。私は菅平が地元ということでも菅平の出身の方からも懇意にしていたいただき感動したことを覚えております。

真田地域の近況について触れたいと思います。2月に関東内陸や甲信越では記録的な大雪となりました。上田市でも市役所のある上田市大手で76cmを記録しました。この大雪により、真田町傍陽地区の方が除雪中にお亡くなりになるという痛ましい人的災害がございました。また、家屋等の被害も多数報告されており、被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。

5月にはNHKの大河ドラマで真田丸の放送が決定されたことは、大きなニュースでありました。真田氏発祥の郷である真田地域には大きな期待がよせられています。夏に行われた真田氏歴史館企画展「大阪冬の陣」では入館者が前年比三十%増となっております。すでに注目が集まっています。今後もお客様の増加が期待されます。

災害時や消防団活動の拠点となる消防団詰所が三月に旧長村役場跡地に完成しました。上田市消防団長分団の拠点施設となります。菅平分団、傍陽分団、長分団の消防団詰所が完成しており、本原分団の拠点施設も建設に向けて検討が始まっています。

菅平高原では、二〇一九年のラグビーワールドカップのキャンプの誘致活動が盛り上がってきています。菅平ダムではラグビーワールドカップをイメージしたイルミネーションも飾られています。菅平にお越しの際にはご覧いただければと思います。特に夜は大変きれいです。

終わりに、会の益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

## 「ふるさとの明日 を築く商工会」

真田町商工会 会長

若林 正徳



このたびは日本ダボス第27号発行に寄稿させていただきました。誠にありがとうございます。

真田町商工会は「商工会の組織等に関する法律」の施行により昭和35年9月に設立発足いたしました。以来54年間今日まで組織と事業の拡充強化に努め現在会員280名余りを有しております。このことは行政をはじめ関係各位の深いご理解とご支援によるものであり、東京真田町の会の皆様にも感謝の意を表す次第です。

商工会は地域の小規模事業者を中心に組織されており、主に事業者の経営改善普及事業や地域の振興事業を行っている経済団体であります。リーマンショック以降続いている景気の低迷に加え消費税増税等会員事業者にとって厳しい状況下であり、又、後継者不足も重なり会員数は減少傾向にあります。

こうした中ではありますが、昨年、小規模基本法及び小規模支援法が成立しました。「小規模基本法」は、小規模企業の振興に関する施策について、総合的かつ計画的に、そして国、地方公共団体、支援機関等が丸となって戦略的に実施するため、政府が基本計画を閣議決定し、国会に報告する等の新たな施策体系を構築するものです。「小規模支援法」は、半世紀以上にわたり小規模事業者の経営相談に応じてきた商工会等が、市

町村や地域の金融機関等と連携して、小規模事業者の意欲ある取組を強力に支援するための体制を整備するもので、当会としても、今まで以上に小規模事業者等の要望に応えるべく、組織体制を強固にして事業を推進していく所存です。

又、ご存知のとおり2016年NHK大河ドラマ「真田丸」放映決定、2019年ラグビーW杯日本大会開催に伴う菅平へのキャンプ地誘致等があり、これらを好機ととらえ地域振興にもつなげていきたいと思っております。

東京真田町会の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を頂きながら本会の事業推進にご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

おわりになります。貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

## 太陽光発電と

### 地方創生

監事 深町 共榮

(田中出身)

3・11以後、一早く原発廃止の方針をとったドイツは、再生可能エネルギー発電が20%を越えている。日本は太陽光パネルでは高い製造技術を持ちながら水力を除く再生可能

エネルギーによる発電は、3・11以前、1%未満であったが、2013年では2・2%となった(水力を加えると10・7%)。2014年には3%になるものと思われる。これは3・11以後の固定買取制度がパネル設置者を刺激し、太陽光発電が急速に拡大したことによる。太陽光発電は、日が出ていない時にしか発電しないため、



充電設備がないと夜に昼間の電力が利用できない。この充電設備をパネル設置者に負担させるとコストが高くなりすぎて、魅力のないものとなる。

しかし、太陽光発電によって、石炭天然ガスなどの化石エネルギーの消費が抑えられ、その分、エネルギーが蓄積され、充電設備の役割をはたす。田舎の家の屋根は一般的に広く、一軒あたり5KW/hの発電が可能で、全国も雨の日が少ないことで有名な上田では、月あたりおよそ580KW/hの電力が得られ、家の電力全てがまかなえる。真田地区の半数近くの家が

パネルを設置し、また増える休耕地にパネルを設置するならば、田舎の景観を損なうことなく再生可能エネルギーで地区全体の電力がまかなえる。パネル設置費用が1KW/hあたり35万円とすると5KW/hでは175万円であり、20年間故障なく使用出来るとするならば、月あたり7292円の費用となる。これからは、大容量蓄電池が開発される可能性も高く、また電気自動車などの使用済み電池の再利用で、コストの低い蓄電システムも開発されるため、10年後あたりからは化石エネルギーに頼らず、再生可能エネルギー電力だけで済む、「環境に優しい先進的な町作り」が可能と思われる。こんな政策に取り組むのは如何でしょうか？

## 悲劇

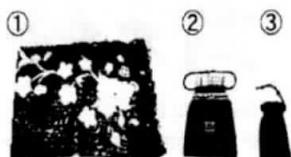
下横道出身 堀内 幸



<広告欄>

### ニットウエハラ

ニット製品各種製造：婦人セーター・カーディガン・巾着など  
秋・冬には新作ニットを中心に工場内で直売会を開催



〒386-0151 上田市芳田 1823-1  
TEL・FAX 0268-36-4503  
上原良治・輝子

例①ニットショール名称：上田城千本桜  
真田雁丸屋扱ひ：例②真田勝運巾着：表裏六文銭織込、通帳とお洒落物入れ、例③ミニ巾着印鑑入れ：表六文銭織込

### (有) 上原重機

クレーン作業は懇切、丁寧で定評のある上原重機  
へご相談下さい



Rough terrain crane/TADANO  
25V 10V 7V 5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・庭園  
(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 東御市和 1086-1  
TEL 0268-36-2369, FAX 0268-35-0502  
上原重二・恵子(大日向出身 旧姓一之瀬)

今から二七年前前の交通事故の話です。

会社を定年退職した当時六五歳の男性が、娘の嫁ぎ先まで自家用車で妻を同伴して迎えに出かけたのです。

娘には三歳の子供がいて、第二子出産間近のため自宅にて孫共々世話をしようと出掛けたのです。その帰路の事故でした。

この日は日曜日で、私はK署の当直勤務、寒い日で昼頃から吹雪始め、昼食を終えた昼休み中でした。一一〇番「一一九番からの転送 国道〇線〇〇駅付近で乗用車と大型トラックの正面衝突、乗用車は四名全員病院に搬送」と入電があり、この事故を知った第一報です。

この事故の結果は事故現場で検分中、第二報で「助手席に同乗していた長女が死亡、他は軽傷と思われるが三名入院」と知りました。

調べが進行するにつれ、この家族は事故現場近くにある国道沿いのレストランで昼食を終え、父親が運転し、助手席に妊婦の長女、後部席に妻と孫が乗り片側一車線の国道に左折して出て約二〇〇メートル程度の現場で対向車線を走行していることに気付かず、対向車のトラックに正面衝突した事故形態としては単純なものです。私も当時は四七歳で、誰でもそうだが仕事に対する経験・気力が充実し、自信を持って。ことに当たったのです。が、この事故のような、妊娠中の娘が

死亡し家族の幸せが一瞬にしてその日の吹雪のように飛散してしまったことを思い感無量になりました。

その後退院した父親の調べも涙しながらでしたので長引きました。

事件は検察庁に送致するのですが、捜査主任としての情状意見に何を書いて良いのやら迷った悲劇でした。

今でも私は時々現場を車で通りますが忘れられない一件です。

その春に私は転勤となりあの時の家族はどうして居るのかと想い出す事故でした。仕事柄、内容の詳細は簡記に留めさせて頂きますが、読者の皆さんの安全運転の一助になればと思いい投稿させていただきました。

## 傍陽村・萩で

### 過ごした高校時代

萩出身 萩原 清人



振り返るともう半世紀あまり昔のことになる。  
元々佐久に住んでいた私は、中学を

卒業した昭和33年(1958年)春、高校通学のため、当時の傍陽村萩の母の生家に寄宿した。母の生家は柳沢姓男4人、女2人の兄弟姉妹で母はその長女。男4人は萩の柳沢4兄弟として名高かったと言うが、事実かどうかは知らない。

私の部屋は柳沢家の蚕室の2階、母屋と倉と隣接し、道路を挟んで池があった。この部屋は喜太雄、喜次郎、喜三郎、義祝の4兄弟が順次占拠し、友と語らった空間でもある。傍陽出身の真田町の会の年輩の方にはここを記憶の方もおられるのではないかと思う。

部屋の南の障子窓を開けると、目の前に太郎山、はるか遠くに、柿が葉を落とす時期には裾野を長く引く八ヶ岳が良く見えた。そして、実は富士山も見えるところというのは、傍陽を離れ50年近く後に聞いたおばの話である。勿論、傍陽から富士山が見えるのは知っていたし、事実茸狩りに行って思いも掛かず大きな富士山がくつきりと見え、感動したものである。それにしても自室から見えていたというのに迂闊であった。

一方、当時の傍陽村は私にとっては、文明の地であった。何しろ電車が通っている、しかも駅まで5分とかからない。この電車はいわば通勤通学電車であるが、多分もう一つは、傍陽の奥の方で採掘されていた蠟石や六方石(水晶)を運搬する手段だったのであろう。

<広告欄>

ARTIST

森本幹生

(元)日本選抜美術家協会常任理事審査員  
国画院会員、国画水墨院常任理事  
〒211-0062  
神奈川県川崎市中原区小針陣屋町1丁目6-8  
☎ 044-733-0267

信州◇戸倉上山田温泉

ホテル

圓山荘

〒389-0821  
長野県千曲市上山田温泉 2-9-6  
TEL 026-275-1119  
FAX 026-275-1109

和風旅館 別館

西乃館

〒389-0821  
長野県千曲市上山田温泉 1-59-11  
TEL 026-261-0324  
FAX 026-261-0325

信州・源泉掛け流し温泉宿

子供の頃から傍陽の駅の線路へ行つては、こうした石を拾い集めた記憶がある。東北線の電車は単線、上田までは結構時間がかかったし、混みあっていた。傍陽は始発駅だから車中では座つてもっぱら小説や詩の類を読んでいた。そうした状況ではあつても、山口あたりのリングの花盛りは格別の世界、車中にリングの花の香りが漂っているかのようにあつた。

傍陽の小学校も懐かしい。暮れて行く校庭の樹々の姿は今も鮮やかに目に残る。3年の間に何度か私達の高校と女子高校のメンバーで施設を借り、卓球やソフトボール、フオークダンスを楽しんだ。奥手な私は終始寡黙、緊張しながらであつたが。

仕事よりも山や川が大好きな喜太雄おじに連れられて、春は露のとうを取りに、夏にかけてはかじか突きや岩魚の手掴みに、秋は茸狩りと地蜂取りに。受験生の身ながらカーバイドを燃やしてのかじか突きは夜12時頃にまで及んだ。また、幼なじみと行動を共にした黒淵の水浴び、千古の滝の滑り下り、風呂代わりの横尾の鉱泉、あるいは実相院の蛙合戦やりんご祭(四万六千日)、その近くの風化花崗岩の砂の中の金雲母のきらめき。さらには柳沢の家のあたり、道路工事等があると縄文式土器は勿論、石斧なども数多く見付かり、大雨の後の道路に黒曜石の矢じりやかけらを見ることもしばしばであつた。

しかし、電車も廃線となつて久しく、柳沢4兄弟も存命は御殿場の大猿、喜三郎のみ、かつての蚕室も母屋も新しい建物となり、池もない。ただ、庭の高野槇の古木の勢いは衰えず、松やヒバの大木も元気である。

傍陽での3年間は、人生で最も多感な時代、青春を凝縮した時代であり、その後もこれほど心豊かに過ごした時間はないとの感慨がある。こうした縁あつて真田町の会に参加し、東北線沿線の高校同窓生からなる「山ざる会」でも楽しませていただいた。

### 小さな

うれしい日でした

曲尾出身 丸山 廣義



九月十五日は敬老の日、今年で五十一歳になった次男より電話がありました。「親父はいつも歳だから、食べ物・着るもの等は、もういらないよと日頃から云っているのでもプレゼントしないけど、親父、いつまでも

元気でいれよ、俺達家族も皆んな病氣一つせずに頑張っているから、そのうち暇を見て会いに行くよ、元気でな。」こんな月並みな、この親子の間でもかわされる電話でしょうが、親は子供がいくつになろうと自分の子、親ばかは歳をとるほど親ばかに、そして己の歳を思うとき、こんなありふれた電話一本に小さな小さなうれしさを感ずるひと時でした。

### 古希越えて

中横道出身 八木 五郎



昭和三四年三月末日、またホッペの赤い美少年、ツメ襟の学生服、(当時ギャバ地で洗うほど黒色が取れて白っぽくなる)吐く息白く夕闇の上田駅をシュッシュポップと離れて半世紀余、何か夢物語の如く過ぎ去りて現在に至ります。

悪き事はさらりと捨てて、今の心境をこの筆、気の行くままに…以下…定年二年残した頃一人娘が結婚(現在孫中一(女)小五(男)あり)親としてまずは一つの責任を果たした様な感じで五八歳で二六年余勤めたJR関

<広告欄>


**土木工事 解体工事 造園 除雪 測量**  
**株式会社 山崎商會**  
 代表取締役 **山崎 勇治**  
 〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2  
 TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558  
 e-mail:yamazaki\_shyokai@yahoo.co.jp


**山崎公認会計士事務所**  
 Yamazaki CPA Office  
**公認会計士 / 税理士 山崎 友揮**  
 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-6-7 岡部ビル 5F  
 tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765  
 e-mail.yamazaki@yy-cpa.com

連会社を退職。

「停年になつたららんのんびり暮らそう」も半月で吹っ飛んだ。

長い習慣で朝の目覚めが早い、でもやる事なし、寝直しなんてとんでもない。エー時間に縛られる事もネエー二十余年、稲毛より朝二番電車の4時32分にて新宿へ。朝星・夜星の生活をきらつたのに、人間って生活のリズムが一転すると体調が狂つて来て、頭も変調：半年間の失業保険もそこそこ、当時稲毛駅に沿つてあつた日本専売公社跡の国分の物流統括センター内のローソンの千葉県下の物流センターに勤めた。

酒・ビール・茶・水・ドリンク類のケースの集荷（ピッキング）に配属され、県下300余店舗のローソンの注文に依つて、ランプのついたケースを動くコンベアーベルトに乗せる。

夏の海の近くの店舗より1日に何十ケースの注文でフォークリフトで運ばれたケースがアットという間無くなり、即追加注文：

こんな仕事を二年半で腰に負担がかかり背骨も反つて腰に激痛が走つて整形外科へ、そこで今の仕事はダメ。車の運転はもつとダメ、もつとひどい痛みくるぞと脅かされて、信じやすい私は即何十年も乗つた車を廃車、医者の助言通りに歩く事・自転車に切り替えて実行中で、今痛みは全くなしです。丁度この頃に稲毛の焼き鳥屋の飲み仲間山トレッキング・ハイキングに誘われて現在に至つています。山登り隊に大きさに言つと入隊、かれこれ

十年、月一、二回は高低間はず、百名山とまでいかずとも何十余山・湿原・高原(冬山はスノーシューズ：かんじき履いて歩きまわる事：のみ)

次の山への日程表が届くと、その日の来ることを楽しみに、皆に迷惑をかけてはいけない(現隊一の長老)、山頂往復できる体力をと、仕事一日立つて勤め、通勤を歩きで頑張り、自分に自信を付けて：チャリンコでは何処でも腹すいたら食べようとおにぎり二ケ(夏冬問わず梅干し入り)作つて成田山、九十九里浜、笠森観音等々房州路を走っています。

四十年近く住んだ千葉には知人多く、行つた先々で海の幸・陸の幸でいただいて感激です。行つた先での決まり文句は「この自転車をよくこまま」で「帰り、帰れるの?」片道百キロ越える時は泊り、以外は日帰りです。

が、こししばらくは休みと天候がうまく合わず走つてません。我等山登り隊の鉄則、雨降つたら登る途中でもスグ撤退です。麓か近くの温泉に入浴して癒して帰る。我れ流山登りつて何ですか?晴れて登頂、山頂での征服感が一番だけど、山頂からの素晴らしき眺め・四季で移り変わる草木もいろいろもつともつといい事、下山してたつぷりの汗を温泉で流して、其の土地ならではの山人料理で飲む酒は五臓六腑にキ・キーンと沁み渡る。俺生きてもて良かったの実感。この一瞬ある限り、毎日のトレーニングを続け次の山トレッキングを楽しみに生きる所存です

つけたし 富士山にも五、六回登頂、お鉢回りも二度やつたけど：一度渡辺玉枝氏(河口湖在、73歳でエベレスト登頂)と一緒に登つてお鉢回り、朝日を浴びて雲海にくつきりの影富士の前で一様に撮つた写真、いい思い出、懐かしいなあ。終わり。

### じいじいのおかしなおには

大庭出身 内海 章緒



私は傍陽村大庭の上の山に生まれました。二十六歳の時から町田市成瀬に住んでいます。今年になって庭の生き物達が今までと、違つて来たように思いますので昭和四十一年頃はどうだったか思い出してみたいと思います。

その頃の成瀬は山・川・田・畑とそれはそれは自然に恵まれた優しい所でした。山には小雉がチヨットコイ、チヨットコイと私たちを呼んでいました。小川には鮒やどじょうが、田んぼ

<広告欄>

「ふるさとの明日を築く商工会」



真田町商工会 会長 若林 正徳

〒386-2201

長野県上田市真田町長 7199-1

Tel / 0268-72-4050

や畑にはカエル達がにぎやかに鳴いていました。トンボ、カマキリ、バッタ、イナゴ等、そうそう蜘蛛も大、小いろいろいました。

農家の蔵にはネズミが、屋根裏にはネズミを食べる青大将が這い回り、時には下に落ちたりしていました。私は蛇は好きではありませんが青大将を殺すことは決してありませんでした。

それが四十四、五年頃から各地で宅地造成が始まりました。山や田畑は削られ団地や宅地、アパート、戸建て等たくさんの人達が成瀬にすまわれる様になりました。

川が泡でいっぱいになるとフナや鯉、どじょう等全く見る事がなくなりました。それから日本の経済が目覚ましい発展を遂げると自然に生き物たちのことは忘れてしまい、毎日一生懸命仕事に励んだものです。

私の庭には松、梅、ツゲ、ツツジ、紅葉、柿、枇杷等、小さな庭に花や木を植えて楽しみました。

しかしここ二、三年のことですが、ゴーヤを植えて緑のカーテンを作り始めたところ、カメ虫達がゴーヤの実を食べに集まるようになり、黄ばんだゴーヤにはビッシリとカメ虫が付くようになりました。勿論殺虫剤は使いません。ただ柿の花が咲く頃、一、二回低毒性の殺虫剤を散布しますが。

しかし今年になって変わってきたなと思ったのは、カメ虫の他にバッタ、カマキリ、ヤモリが出て来た事です。更に八月のある日、青大将がネズミを

食べているのが見えました。一週間ほど経ってからシンピジウム用小温室に入ったところネズミの頭と骨とシツポが残されているではありませんか。更に九月には大きな女郎蜘蛛が大規模なネットを張り、虫を捕えていました。

ここまででしたら私の庭も五十年前の自然を取り戻してくれたかとホトトすする所ですが、十一月になり友禅菊と一緒にヒマラヤユキノシタが三本も咲いているでは有りませんか。え！秋の花と春の花がなぜ一緒に咲くの、私には信じられませんでした。そして、地球環境の悪化が私の小さな庭にも影響して来たのかと愕然としました。エネルギーの節約により、少しでも環境の悪化を防がなければと思いました。

## 70代になった今 思うこと

中原出身 岩井 泰子



日一日と寒さが加わり、紅葉も見ごろの時期となりました。信州はすでにすっかり落葉した晩秋、実家の前に広がる太郎山もすっかり茶色となり、烏帽子子岳にはうつつすらと初雪を感じる頃であろうか、と埼玉の地より思いを馳せております。

光陰矢のごとし、23歳の結婚を機に我が故郷を離れてからすでに50年の月日を経ました。しかし、私を生み育んでくれた故郷への感謝を日々の生活の中で決して忘れたことはありません。訪れる度に温かく大きな懐で迎えてくれる肉親、隣人、そして変わらぬ偉大な自然は今でも私の心の拠り所です。正に石川啄木の短歌「ふるさとの山にむかいて言うことなし ふるさとの山はありがたきかな」の心境です。ただ加齢とともに車での遠出が難しくなり、帰省する機会が減ってしまったことが残念です。

前述したように私たち夫婦は今年で結婚50年を迎えました。結婚したのは昭和39年、東京オリンピックが開催された年で日本中がオリンピック景気にわいていた頃でした。それから50年、日本はその頃には想像できないほどの大発展をとげました。私達夫婦にも大なり小なり様々なことがありましたが、それでも大過なく二人そろって元気に楽しく今日までくることができたことを本当に有難く思っています。これまで未熟な私たちを支えてくださった多くの皆様には感謝の念でいっぱいです。二人の娘もそ

〔一九頁一段第一行目に続く〕

<広告欄>

菅平まんじゅう  
製造、販売

かんせいえん  
菅清園

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 Tel: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

## 第二十七回 総会・懇親会のご報告



事務局長 鈴木 邦子

(横尾 出身)

平成二十六年五月二十五日アルカディア市谷 五階の「穂高の間」において第二十七回総会・懇親会が開催されました。今年も天候に恵まれ、会員四十三名、上田市行政関係から三名、上田市議会から五名、東京上田会、東京丸子会から各一名の皆様にご出席賜りました。恒例の「信濃の国」を全員で声高らかに斉唱！

### ◎ 総会

司会 副会長 柴田小夜子

〔山口会長挨拶の概要〕

真田幸村公の大河ドラマが放映されるとの事大変うれしく思う。昨年の会員旅行では真田自治センター長始め職員の皆様にお世話に成り御礼申し上げます

会員の皆様には、ご協力頂いていますが、この会発足以来会の要である年会費を千円で運営してきましたが、消費税が八%に成ったり、物価等の値上

げに伴い財政が大変厳しくなっております。広告や寄付金などを頂ければと努力はしておりますが、思うように行きません。そこで皆様に会費の値上げをお願いし、此の会を存続発展させ、会員増員にも力を入れてゆきたいと考えております。どうか宜しくお願い申し上げます。

〔上田市 市長 母袋 創一様 のご挨拶概要〕

長・傍陽・本原の三村が上田市と合併してから九年目になり、この三月に市長・市議選があり今日ここにお邪魔しています市議の皆様と市政をやらせてもらう事に成りました。

去年の九月に姉妹都市の兵庫県豊岡市から天然記念物のコウノトリが自然ふ化して突然に上田市に飛来し今年の五月まで滞在した。こんな偶然が幸せを運び、順風の風が吹き、署名運動やらで大変でしたが、NHKの大河ドラマ「真田丸」の放映が二〇一六年に決まり、脚本は三谷幸喜なので、どんなふうに来るか、楽しみにしてください、経済効果も発揮するよう市民の皆様への知恵を集め行政も共同作業で進めています。一〇〇年に一

度もといわれる程の交流文化施設ですが、愛称「サントミュージゼ」と決まり六月半ばに引き渡され、十月二日のオープンに向け準備を重ねております。真田町の木をふんだんに利用しておりますので、是非足を運んで見てもらいたい。

菅平には、ラグビーや、サッカーのグラウンドが一〇九面あり、これも世界一かと思われれます。二〇一九年のワールドカップのキャンプ地とし、強いチームを作って貰いたいと言う事で、会長を引き受けましたのでしっかりと取り組んでゆきたい、また二〇二〇年は東京オリンピックも有りますのでそれらの事前合宿場としての誘致もしたいと思えます

また、しなの鉄道では初めての観光列車「ろくもん」が長野から軽井沢まで運行され、沿線のレストランが提供する食事も楽しめ、行く行くは妙高まで伸びます、皆さんの故里、上田が変ってきております。是非来てもらいたいと思えます。

### 議事

○ 山口元彦会長会務報告及び役員改選・堀内幸監事監査報告  
二六年度会務報告及び会計報告・二七年度事業計画及び予算の決定  
二五年度監査報告

役員改選 以上全員一致で承認頂きました。

### ◎ 懇親会

司会 理事 花岡 孝雄

歓迎の挨拶

顧問 中島 正江

行く先々で、真田幸村とか、上田とか真田と聞くと、ふるさとに帰ったような気持ちになり嬉しくなります。

本日はお忙しい中、大勢の皆様、お集まり下さいまして本当にありがとうございます。どうか時間の許す限り楽しんでいただきたいと思います。

今回ここに掲げて有ります、六文銭のマークと「東京真田町の会」の立派な垂れ幕を、長年会員として色々ご協力頂いております、傍陽の萩ご出身の柳沢 實様から寄贈していただきましたのでお知らせいたします。

### 来賓のご紹介

事務局長 鈴木 邦子

上田市行政関係の皆様

上田市 市長 母袋 創一様

(下塩尻)

真田地域自治センター長

高橋 義幸様

(中之条)

真田地域自治センター地域振興課

地域政策係 伊藤 岳彦様

(菅平)

上田市議会関係の皆様

上田市議会議長 下村 栄様

(腰越)

上田市議会副議長

池上 喜美子様

(踏人)

上田市市議会議員 古市 順子様

(竹室)

佐藤 論征様

(真田)

上田市市議会事務局長

片岡 文夫様

(小牧)

在京他会の皆様

東京上田会会長

山崎 齋明様

(室賀)

東京丸子会会長 土屋 博 様

(上丸子)

上、十名の皆様に御出席頂きました

### 来賓祝辞

○ 上田市議会副議長

下村 栄様 祝辞概要

本日は、副議長の池上と、議員の古市と、佐藤の四人でお邪魔いたしました。今回三井議員は都合悪く出席出来ませんでした。皆様に宜しく申しておりました。

真田町では真田丸の放映とラグビーワールドカップ等明るい話題が沢山届いております。二七回総会・懇親会にお招きいただきましたので、皆さんと昔の話やら、新しい上田の話も沢山して頂きこの会が盛り上がり、真田会と上田の輪が広がって行けたらう

れしいと思います

○ 東京上田会 会長

山崎 齋明様 祝辞概要

昨年、上田会の会長を引き受けました。皆さんの和気あいあいな会場で初めてお邪魔して大変うれしく思います。東京上田会も、東京真田会・丸子会・武石会も一緒に発展すべく進んで参りたいと思います。

上田会は二十周年になりますが、皆様に支えられ頑張つて参りますが、どうか皆様お力添えの程、宜しくお願ひします。

○ 東京丸子会 会長

土屋 博様 祝辞概要

今回でお招きいただいたのが、四回目になります。四月に同期会があり、真田幸村は皆知つていたので、大河ドラマは難しいのではと、友達も心配していましたが、市長さん始め市民の皆さんの熱意が実を結んだのでしよう。決まった時には大勢の人達からお祝いのメールを貰いました。「真田丸」の風に乗つて、上田市と真田町が全国津々浦々まで広まり発展することを願ひます。

### 乾杯の挨拶

○ 会員 橋詰 吉万雄様

(中組)

ご指名頂きました、橋詰吉万雄(八

十二歳)です。東京真田町の会の増々の発展と、お集まりの皆様、弥栄と、ご健康を祈念いたしました

\*\*\*乾杯 !

### 宴会

江戸芸かつぱれ・カラオケ・踊り。全員で輪になり「真田郷」を踊る。また上田市から頂きました「りんご」をジャンケンで勝ち抜き戦で市長様に勝つた方十名に決まるなど皆さん童心に帰り楽しませていただきました。有難うございました。

### 閉会の挨拶

副会長 飯島 慶三郎

本日は、大勢の皆様にお集まり頂き盛会になりました。どうかまた来年もご健康で大勢の皆様にご出席頂きます様、宜しくお願ひ申し上げます。有難うございました。

### ☆ 総会出席会員名簿

(敬称略・順不同)

長

一之瀬 和夫(大日向)

岩崎 みち子(菅平・正木)

大久保 あき子(菅平・川上)

大久保 治夫(大日向)

荻原 啓治(四日市)

川上 年美(菅平・宮崎)

神田 幸雄(横尾)

倉島 義明(横沢)

小林 公江(大日向・塩沢)

椎名 巳津男(横沢・山口)

篠崎 さく(大日向・大久保)

柴田 小夜子(菅平・市村)

鈴木 邦子(横尾)

武田 守央(真田)

田原 国栄(菅平)

中島 正江(戸沢・関谷)

野村 勝太郎(大日向)

花岡 孝雄(横尾)

原田 好幸(横尾)

宮島 光男(横尾)

柳沢 郁政(土沢)

山口 元彦(横沢)

傍陽

飯島 啓三(中組)

井上 かつよ(田中・堀内)

内海 文緒(大庭)

海瀬 弘司(曲尾)

金子 誠(田中)

小林 正子(下横道・堀内)

佐藤 昌江(萩・柳沢)

杉村 房枝(萩・落合)

館野 清實(田中・堀内)

中沢 欣勇(下横道)

中村 洋子(田中・木下)

萩原 清人(萩)

橋詰 吉万雄(中組)

半田 幸一(田中)

平田 金子(岡保・橋詰)

堀内 福(下横道)

堀内 寿美(上横道)

堀内 幸(下横道)  
堀内 保芳(三島平)  
武捨 衛人(中組)  
飯島 慶三郎(下原)  
本原

以上 四三名



お詫び：大変申し訳ありませんが、編集長のパソコンがクラッシュしたため、総会の写真は掲載分(鈴木事務局長提供)で全てです。



上田市よりご来賓の皆様です。  
尚、《六文銭と東京真田町の会》の垂れ幕は柳澤 實会員の寄贈品です



懇親会場はかつぼれで盛り上がりました



上田市のHPで見つけたふるさと信州のリンゴ  
美味しそう!!!



# 各部の活動報告

## ★ 親睦旅行

例年の親睦旅行が今年は「ふるさと訪問旅行」として次の通り開催されました。

期日 二六年十一月九日～一〇日

参加者 男一五・女五 計二〇人

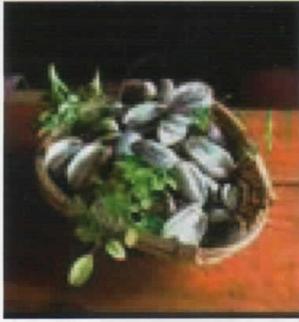
行程 一日目

大宮駅西口パレスホテル前で送迎バスに乗車（九時）～関越道東松山IC～上里SA～佐久IC～佐久平プラザ二一（昼食）～佐久IC～上田菅平IC～真田町長谷寺（長谷寺の由来と真田家の関係について住職の説明を受ける）～和田宿本陣見学～ビーナスライン～池の平ホテル（二七時到着）

二日目

池の平ホテル（八時三〇分出発）～蓼科チーズケーキ工場（買物）～諏訪IC～小淵沢IC～八ヶ岳牧場から野辺山菊本（昼食）～佐久ピッコロ地蔵お参り～佐久IC～東松山IC～大宮駅西口到着解散（二七時）

担当理事 花岡 孝雄



秋の味覚:アケビ



ふるさと訪問旅行、2日目の出発です。（二日目は霧で何も見えず…）



右…朝霧に煙るわが宿池の平ホテル  
左…素晴らしいしらかば高原の秋色



右…佐久のピッコロ地蔵  
左…ふるさと信州の晩秋です（車窓）





佐久の新勝寺前に勢揃いした  
ふるさと訪問旅行一行



上田市のHPで見つけたふるさとの秋色  
虹が写っています。どこかなー？



旅の楽しみ・昼食です。  
野辺山高原《菊本》

☆ ふるさと訪問旅行参加者名簿  
(敬称略・順不同)

- 飯島 慶三郎(下原)
- 一之瀬和夫(大日向)
- 大橋けさ子(菅平・山本)
- 金子 誠(田中)
- 川上 年美(宮崎)
- 坂口 典和(真田)
- 鈴木 邦子(横尾)
- 関 弘吉(中組)
- 館野 清實(田中・堀内)
- 中村 洋子(田中・木下)
- 花岡 孝雄(横尾)
- 深町 共栄(田中)
- 堀内 寿美(上横道)
- 堀内 幸(下横道)
- 堀内 敏文(下横道)
- 堀内 保芳(二高平)
- 武捨 衛人(中組)
- 八木 五郎(中横道)
- 山口 元彦(横沢)
- 山本 包幸(真田)

☆ スポーツ

◎ ゴルフ同好会

今年の上田会との交流ゴルフ大会  
は春季・秋季ともに八王子の武蔵野  
ゴルフクラブで開催されました。

春季 4月24日

出場26名、内当会より5名

優勝：井上茂氏

◎ マレット

ゴルフ

今年のマレットゴルフ会は開催計  
画日の5月13日、10月14日共に  
降雨のため中止となりました。

担当理事 荻原啓治、堀内政



春季大会出場の皆さん



秋季大会出場の皆さん

準優勝：宮人昇氏  
秋季 10月22日

出場16名、内当会より6名

優勝：井上茂氏

準優勝：飯島慶三郎氏

担当理事 荻原啓治、堀内政

(二三頁三段目最終行から続く)

れぞれ独立し、幼いころ病気がちで心配が絶えなかった私たちの唯一の孫も、今は陸上部でがんばる元気な高校生に成長しました。

先日、娘達家族が都庁近くのホテルレストランで金婚式のお祝い会をしてくれました。美味しいフランス料理を、馳走になり、花束と私達夫婦の心配が絶えなかった私達の唯一の孫も、似顔絵イラストのサプライズプレゼ



ントもあつて、とても楽しいひと時を過ごしました。娘達の私達親への感謝の気持ちがとても嬉しく、これからも夫婦二人で元気に楽しく過ごしていきたいと意を新たにしました。帰り際いつも通り過ぎてなかなか昇ることがなかった都庁の展望台に昇りました。眼下に広がる大パノラマに感嘆し人間の持つ力の偉大さを思う一方、一人の人間とはなんとちっぽけな存在かとの思いにも浸りました。

先日以来、「銀幕のスター」「男が惚れた最後のスター」と称された俳優の高倉健さんの訃報がマスコミで大きく取り上げられています。一ヶ月前まではとてもお元気だったとのことで、

残念でなりません。

映画の中で演じる人間の強さ、男の優しさや寡黙さ、作品やスタツフに向き合う真摯で礼儀正しい姿勢は、ファンはもちろんのこと多くの共演者やスタツフを惹きつけたそうです。私自身としては、テレビで拝見する80歳を過ぎての高倉さんの眼差しにとっても優しさを感じていました。自らを律する美学、穏やかな顔に慈愛を感じる表情は、70歳を過ぎ、人生の午後(否、黄昏かもしれない)を迎えた私にとって老いを生きろお手本のように思えます。歳を重ねる毎に優しく素直でありたい、何か自分なりの筋を一本通しながら老いる道標としたい、そう考える私にとって高倉さんの姿はとても眩しく映りました。

思い浮かぶまでに記しました。

今年も残るところあとひと月、會員の皆様がお元気で過ごされることを願いつつ、私の拙い寄稿とさせていただきます。

2014年11月23日

### 「私の履歴書」

曲尾出身 清水 民子



いま、此処に居ることを記録に出来るように、これから「履歴書」のようなものを書いてみます。

当年とって、と告白するわけではなけれど、ずいぶん長い年月を過ごしてきました。

空気のきれいな長野に生まれて「美味い空気を吸わせてもらえるなんて、幸せだったのだなあ」と思ったのは少し大人になってからです。

年頃になって東京へ来た目新しい物に囲まれて、夢のようだと感じたこともありました。そこで結婚し、二人の子供も大きくなり、いつしか孫も話し相手になってくれるほどになっています。

長男のところへ嫁ぐのは大変なことなのだを知っていたつもりでしたが、それはそれは、やっぱり大変でした(笑)。主人の二両親、主人の二兄弟、ご親戚、それから近隣の人達まで、いろいろと気遣いが必要です。

頑張ったつもりでも、育ってきた環境が違ふと「あれ？」なんてこともしょっちゅうでした。そんな時、優しい主人は慰めてくれたり励ましてくれたり、時にはこつそりと勇気づけてくれました。失敗も許してくれて、笑う時も一緒ですから、おそらく一番の理解者だったのを里から離れてしみじみ感じたのは、案外早い時期だったと思います。

東京はやっぱり多種多様な人が集まっっていて、娘のママ友(今風ですね)もいろんな方がいました。友人として今でも仲良くしている人もいて、それ

<広告欄>

## 九段中央法律事務所

弁護士 山口 元彦 弁護士 鈴木 謙  
弁護士 奥野 伸二郎

不動産売買・賃貸借 相続 金銭問題 交通事故  
刑事・少年事件 その他

誠実に、確実に、そして親切に

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-10-1  
九段勸業ビル5階  
TEL 03-5215-1511 FAX 03-5215-1512  
地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅  
徒歩5分(ホテルグランドパレス向かい)

はとてもありがたいです。子供時代を過ごした土地で無いぶん、東京の発展していく姿を家族や友人と一緒に楽しみながら見てきました。

そんな中でも、長野から両親や兄弟、甥、姪が来てくれるのはとてもうれしかったのを覚えています。東京タワーにもずいぶん行きましたし、観光名所や銀座にも一緒に出掛けられたのは楽しい思い出です。みんな、主人を慕って帰ってきて鼻が高かったこともあり

ます。毎年夏には娘を連れて帰省しました。主人は東京に戻る2、3日前にお迎えに来てくれて、里に何泊かしてくれま。日々、仕事に追われ、会社を切り盛りしている父親が来ると、娘たちもそれは喜んで纏わりついてきた姿がついこの前のようによみがえります。

主人は亡くなりましたが、主人や家族と作ってきた思い出に囲まれて、いま私は此処に生きています。広すぎる部屋にも、静かな空間にも慣れてきました。私らしく、これからは毎日をイキイキと過ごしていきたい、こんなとりとめのない履歴書が出来上がりま

終

## 「ふる里訪問記」

—ありのままの真田の

今日は雨だった—

大日向出身 一之瀬 和夫

「ふる里訪問」は入会して初めての

楽しい旅でした。さかのぼって、二〇一三年秋に初めて出席した上田千曲高校同窓会関東支部総会あとの懇親会で、支部長深町様から「東京真田町の会へおはいらになりませんか？」とお誘いをいただき、翌年四月頃に会



バスの中では大宮出発の時から、後席に陣取った漫談グループの引きも切らずの世のなか談や放談に聞きほれていました。しばらくして雨の真田、入った坂の左手にはそのままの山家神社がひっそりと。もつと裏手へあがる？と、着いた先で真田地域自治センターの方にお迎えをうけ、深町様と山本様も合流されました。急な石段の先を見上げた時、どこかで見たことのある門が・・・。

それは二四年前、小学六年だった長

男の夏休歴史しらべ「ゆかりの地真田」で、訪ねた長谷寺の「双の桜の向こう、蟬しぐれの中にとつ石門」でした。暗くひんやりとした木立のもとに、これまたひっそりと苔姿の搭があつたところ。ご住職のお話のあと、「あの苔搭は・・・」と見回して、そのわきにズンと立つ黒御影の碑にビックリ。永きにわたり公を護ってきた苔の幾代にすまなく、残念・・・。歴史の地は手つかずのそのままがいいなあ・・・と、雨に手合わせ。

ひと休すみの歴史探訪「和田宿」では煤竹いろの柱と絵、口上もなめらかに政略と時の世情へ誘って下さった本陣の方の語りもよかったです。

さて、巡った先の白樺湖池之平ホテルでは演装一座（ママ）の独演にのせられっぱなし。それも二次会でおさまりがついたので。雨も上がった朝、ホテル前で深町様と山本様にお別れ。大宮への帰路、鯛ならぬ釣りあげさまの尻頭つき超デカ鯉（あんこ入りのたい焼き）をいただき、車酔いもせず、くたびれも知らぬ賑わいの中で強制終旅（ママ）となりました。

二日間にわたり案内下さった運転手様と、ふるさと産茸をご準備下さった地域センター次長の藤沢久雄様はじめ地域振興課の清水英典様、および五月に東京の総会へお越しいただいた伊藤岳彦様に御礼を申しあげます。愉快的な旅を計画された理事花岡様ありがとうございました。

<広告欄>

新築・増築・リフォーム

総合  
建設業

株式会社 幸和建設

代表取締役 宮下 幸良

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6

TEL 0268-36-3399 FAX 0268-36-3838

E-mail: info@kowa-kensetsu.jp

おわりに、上田市真田町の皆様のご健康を祈念して筆をおきます。

### 会員の皆様へ

#### 近況報告抜粋

(敬称略・出身区・旧姓)

#### 一 秋葉昭雄(入野沢・小林)

元気で暮らしております。今年も都合がつかず欠席させていただきました。ご盛会を祈ります。

#### 二 荒木廣之下郎

東京真田町の役員皆様の日々に活躍に心より感謝申し上げます。小生いつもふるさとの情景を胸におき、幸せな日々を過ごしています。今後とも永く役員皆様のご健勝を祈念いたします。

#### 三 飯嶋啓治(秘)

会員の皆様へおこころ。

#### 四 飯嶋啓三(中組)

早いもので今年も皆様と会える日が来りました。皆様と会える日が楽しみです。

#### 五 一之瀬和夫(大日回)

東京真田町の会へお誘い下さりありがとうございます。梁田様や

皆様にはお手数をかけてすみませんでした。二〇一三年三月に六七

歳定年となり勤続三八年を終わりました。そのあと、この一年は非

常勤をしておりますが、ようやく肩の荷を軽く感じるようになりました。

整理しております。懐かしい昭三三年九月の真田中学新聞(第九号)がありました。皆様にお

会いできてうれしいです。

#### 六 井出道子(下原・南條)

都合により出席できません。盛会をお祈り致します。

#### 七 井上かつ代(田中・堀内)

桜も満開となりました。いつもお世話になります。今回も皆様に逢えるのを楽しみにしていますので宜しくお願いいたします。

#### 八 岩井泰子(中原・荻原)

新しい緑に心踊る頃となりました。役員の皆様いつもありがとうございます。「古里のなまりなつかし」

出席させていただきます。

#### 九 岩崎みち子(菅平・正木)

いつも大変ありがとうございます。毎日孫の子守で忙しくしていますが、総会には出席いたします。

#### 一〇 上原佳和(中横道)

げんきです。一三日から一六日まで旅行です。

#### 一一 内海宏光(大庭在住)

今年は一〇〇年に一度この大雪で、私の家の近くの畑では積雪七五cmもありました。庭や道路の雪掃きは大変でした。傍陽支部遺族会の春の慰霊祭も雪の中で挙行するのかなか心配していましたが、三月二

日にはごうにか雪も少々となり、多くの皆様に参列頂き無事に行うことができました。ありがとうございます。

一句、雪溶けて蕾み開きし福寿草、昨年は四株今年は二株。

#### 一二 大橋けさ子(菅平・山本)

元気に過ごしております。

#### 一三 荻原啓治(四日市)

毎日、元気に歌を唄っています！当日は日比谷でコンサート出演のため三〇分ほど出席させていただきます。

#### 一四 荻原徹子(六沢)

昨秋は京都へ行く機会があり、妙心寺を見学しました。偶然にも秋の特別公開で大法院へ入ることができました。ここが真田信幸の菩提寺として創建されたこと、また佐久間象

< 広告欄 >

## 齋藤指圧治療院

# 齋藤 勇 一

(真田出身)

〒153-0043

東京都世田谷区松原 5-56-10

シャポール東松原 301 号



03-3322-6622

山のお墓もここにあることなどを初めて知りました。投函を忘れており遅くなりました。

一五 荻原 學(眞田)

健康が何よりと思っています。

一六 海瀬弘司(曲尾)

いつもお世話になっていきます。久方振りに参加します。知り合いも少なくありませんが、みなさんにお会い出来る日を楽しみにしています。

一七 笠原せつ子(上原・飯島)

元気で生活しております。

一八 川上年美(菅平・宮崎)

私、三月一五日杉並に引越をしました。よろしくお願い致します。

一九 川上秀盛(菅平)

残念ですが小用のため欠席いたします。

二〇 北澤りん(上横道・柳沢)

日本ダボスいつもありがとうございます。年齢とともに故郷も遠くなりましたが「日本ダボス」をとて身近く感じており嬉しいです。

二一 久保新一(角間)

「苦勞様です。」盛会を祈ります。

二二 久保宗一(横沢)

体調不良につき欠席させていただきます。総会の盛会を祈念しております。

ます。

二三 倉島峯子(横尾・鈴木)

よろしくお願い致します。

二四 小林重利(入舛井沢)

総会と懇親会の連絡をありがとうございます。ご参加の皆様によろしくお伝えいただけます。残念ながら今回も欠席いたします。ご参加の皆様によろしくお伝えいただけます。小生、二四年十月の手術以降順調に回復しておりますが、三年間の経過観察というところ大過なく日々を送っております。

二五 小林公江(大日向・塩沢)

役員のみな様いつもお世話に有りがとうございます。久し振りに参加できますので宜しく願います。

二六 小林孝雄(曲尾)

高齢八九歳となり、一人での遠出は困難となりました。次代の役員皆様のご健闘に期待しています。

二七 小林正子(下横道・堀内)

幹事さんいつもありがとうございます。皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。お世話になります。よろしく願います。

二八 斉郷陽子(菅平・小山)

元気で過ごしております。当日は私用がありまして欠席させていただきます。

きます。年会費送金します。

二九 斉藤美枝子(菅平・今井)

お世話になっていきます。都合がつかず欠席させていただきます。来年を楽しみにしています。

三〇 坂口英一(眞田)

毎回の欠席、お許しください。

三一 坂口典和(眞田)

母一〇三歳の健康が心配されており欠席させていただきます。

三二 桜井和子(下横道・中沢)

おかげ様で元気で忙しくしています。二五日は先約があり残念ですが欠席します。

三三 笹沢けさむ(横沢・久保)

役員および理事方々のおかげでふるりの様子をなつかしく拝見させて貰っています。予定を組んであり総会には参加できませんが総会が無事終了することを祈念致し日頃の皆様役員の方々にはいつも大変感謝いたしております。「苦勞様です。」

三四 佐藤昌江(萩・柳沢)

お世話になります。どうぞよろしく願います。

三五 椎名己津男(横沢・山口)

「一案内状ありがとうございます。」役員の皆様方の御苦勞に感謝申し上げます。

< 広告欄 >

スポーツケア &  
コンデショニング

さくらまち整骨院

つらい症状がまんしてませんか  
〔お問い合わせ・ご予約〕 日祝休  
☎ 03-5426-2177

院長 細野 貴志

〒 154-0014  
東京都世田谷区新町 2-15-10

げます。懐かしい真田町の人達と故郷の方言での思い出話にこの今から楽しみです。ぜひ多くの人たちの参加を期待しております。よろしく。みつお

### 三六 塩沢英巳(大日向)

ご案内をいただきました。ありがとうございます。ありがとうございました。

### 三七 柴田小夜子(菅平・市村)

今年も皆様にお会い出来る事を楽しみにしております。宜しくお願いいたします。

### 三八 清水清晴(中横道)

役員の皆様ご苦労様です。今なお健在で今日あるは皆様のおかげです。ありがとうございます。今後とも先ある限りよろしくお願いします。年令のため欠席させていただきます。

### 三九 清水貞夫(菅平)

毎日仕事にはげんでおります。

### 四〇 清水民子(曲尾・上原)

今年の十月は今までの寝不足が解消できる生まれて初めての大きいベントがあります。背骨が大きく曲がってしまつ病気のため手術をして背骨側にポルトを何本も入れて固定しました。大手術のあとは回復も早く良い御医者様と看病して下さい皆様にご感謝しております。今は真つ

すべに立ち、歩くこともできてうれしく元気に皆様にお逢いできると思つていましたが、当日は祝い事と重なりましたので残念ですが伺えませんが。また次回を楽しみに、二七回が盛会であることをお祈りいたします。暮れにいただく「日本タボス」を楽しみにお待ちしております。

### 四一 清水征夫(中原)

役員の皆様には、いつもお世話様です。故郷の写真等、とても楽しみにしております。今年も春、四国八遍路を仲間と歩きます。

### 四二 杉村芳枝(萩・落合)

御世話になります。どうも、よろしくお願ひ申し上げます。

### 四三 鈴木郁夫(横尾)

今年も他の行事と重なり欠席となります。盛会をお祈り致します。私事で、オートマタ工房を今年末で閉鎖いたします。十月より在庫品の原価販売を致しますので、ご興味の有ります方は、インターネットで「くわん工房」で検索され、メールを下さい。

### 四四 鈴木民子(竹室・高寺)

いつもお世話になって居ります。本原出身の方の出席がいつも少ないので出来れば出席したいのですが、他の

用事と重なってしまいましたので残念ですが欠席させていただきます。

### 四五 関 弘吉(中組)

総会のご案内ありがとうございます。秋の親睦旅行には参加したいと思つています。

### 四六 高畑悟郎(大庭)

住所が変わりました。

### 四七 滝沢あい(真田)

一昨年より療養所佐久市で車椅子での生活です。ご家族信

### 四八 滝沢けさ子(赤井・若林)

マレットゴルフにはいつも参加しております。

### 四九 館野清実(田中・堀内)

旅行の際は皆様にお世話になりました。亦、旅行の御話が出ると思つますが年なのでどうでしょうか？

### 五〇 田中恒夫(横尾)

いつもご苦労様です。お陰様で元気で居りますが残念ですが欠席させていただきます。皆様によろしくお伝えください。

### 五一 塚田加代子(横尾・宮崎)

東京真田町の会の益々のご発展をお祈り致しております。あと一年で還暦をむかえます。どのような生活が送れるか楽しみにしています。

< 広告欄 >

## 有限会社 千曲美装

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104

Tel 0268-23-7896、Fax 0268-23-7813

e-mail t\_miyashita@chikumabiso.co.jp

アパート、マンションから一般住宅までリフォーム・メンテナンスの全てをお引き受けいたします。お気軽にお声かけ願ひます。

五二 中沢欣勇(下横道)

前略。二月は大雪に見舞われて、桜の季節も早々と過ぎ、もう五月の春真つ盛りとなります。早く過ぎゆく季節に戸惑う感じは年をとった証拠かもしれません。本年も皆々様元氣に大勢にて総会に参加され、楽しい会になることを祈念いたします。

五三 中島正江(戸沢・関谷)

年々、会員が減少しております。知人の方々おりましたら入会を紹介して下さい。真田町を愛する皆様一人でも多い心づもりを語り合ひましょう。

五四 中村恵美(秘)

体調不良、でもがんばっています。

五五 中村洋子(田中・木下)

役員の皆様ご苦勞様です。今年もおかけ様で出席できます。ありがとうございます。東京真田町の会、大好きです。

五六 野間亮子(横尾・北沢)

しらかば通信をありがとうございます。真田町の会になかなか参加できず、毎回のご案内で会や真田町の様子を拝見しております。ほんとうお世話になっております。

五七 野村勝太郎(大日向)

民謡またはカラオケ、時間があれ

ばお願いします。

五八 野村富子(秘・橋詰)

用事が出来てしまい欠席します。がよろしくお願いします。幹事の方々ご苦勞様です。

五九 橋詰吉万雄(中組)

去る四月一五日、上山田温泉にて傍陽小学校の同級会の折に映画鑑賞で話題になった姥捨山に行き、八三歳の同級生みな無事帰還しました！真田町の会ではいつもお世話様です。宜しくお願い致します。

六〇 花岡孝雄(横尾)

一年もアツという間に過ぎてしまっていますね。宜しく申し上げます。

六一 花岡節雄(横尾)

元気でやっています。

六二 原田好幸(横尾・山崎)

返事が遅れてすみません。二五日役員の皆様には総会でまたお世話になります。

六三 半田幸一(田中)

幹事の皆様ご苦勞様です。厚く御礼申し上げます。体調は以前と同じですが、今年はお出させていたいただきたく何卒よろしく申し上げます。乱筆で失礼をお許し下さい。

六四 半田喜章(中横道)

残念ですが当日は旅行を予定しており欠席いたします。ご盛会をお祈りします。

六五 久野けさ志(中横道・堀内)

幹事の皆様、毎度ありがとうございます。当日は法事と重なりすみません。皆様によろしく申し上げます。

六六 平田金子(岡保・橋詰)

いつもお世話に成りありがとうございます。本年も皆様にお会い出来る事を楽しみにしております。宜しくお願い致します。

六七 深町共栄(田中・山岸)

法事と重なり、申し訳ありませんが総会を欠席させていただきます。ご盛会をお祈り致します。

六八 布施京子(真田・木島)

元気でおります。

六九 堀内耕吾(下横道)

ご返事遅くなり申し訳ありません。五月一七日に兄の二三回忌にて帰省いたしました。昔と変わらぬ景色が懐しく歳月を重ねる程に郷愁を感じます。今年も関係する団体の総会と重なり欠席で申し訳ありません。平成一八年大河ドラマ真田丸決定で元氣をもらいました。会の増々の発展祈念申し上げます。

七〇 堀内重男(三島平)

幹事様へくろく様です。四国八八

< 広告欄 >

東京真田町の会会員

『祝・真田丸』

宮 本 優

NHK大河ドラマ決定』

〒360-0201

埼玉県熊谷市妻沼 658-3

TEL 045-88-4644

ヶ所の巡りを終え昨年十一月高野山に巡礼に行ってきました・元気に過ごしています。都合により欠席させていただきます。

七一 堀内 福(下横道)

失礼しました。ウツカリ葉書を出したのと思い込んでおりました。山口さんお電話下さりありがとうございました。

七二 堀内照美(上横道)

当日は勤務先の地元行事と重なり欠席させていただきます。盛会をお祈りします。※カラオケが好きなので大会等ありましたら声をかけてください(笑)。

七三 堀内敏夫(中横道)

東京へ転動してから早四一年、今年六五歳になりました。引き続き雇用延長されて同じ会社で働いています。

七四 堀内 政

総会后担当理事の諸兄(ご苦労様です。今回も雑用(インド旅行)が重なり欠席です。盛会になる事を祈念します。

七五 堀内 勝(下横道)

真田町の会の旅行楽しみにしています。ちょうどこの頃に坂城町より真田町に転居しますので皆さんによろしく。

七六 牧内 操(秘)

ご盛会を祈ります。

七七 松井志づ江(秘)・柳沢

元気で過ごしておりますが腰痛のため欠席します・皆様によりしくお伝えください。

七八 丸山廣義(曲尾)

ほかの会の役員会があり本年も皆様にお逢いできず誠に残念に思っています。欠席させていただきます。皆様の健康ご盛会をお祈り申し上げます。

七九 宮崎十人重(菅平)

いつもお世話様です。都合により欠席いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

八〇 武捨幹男(中組)

配偶者の介護のため他のことは考えられなくなりました。

八一 武捨衛人(中組)

七八歳で元気に傘寿を目指しています。日頃は若者との交流、帰宅見守り隊、学修塾や、パソコンいじり(日本ダボス、しらかば通信の編集や市民講師、クラブのインストラクター)、ウォーキング(所属クラブは十五年

続いています)などで、健康と若さの維持に努めています。予測寿命は九五才なのでボケ防止に懸命です。

八二 森本幹生(入軽井沢)

大きな個展をひかえており、忙しい毎日です。皆々様の健康と盛会を祈念しております。

八三 八木五郎(中横道)

阪東三三ヶ所、秩父三四ヶ所巡拝を二年半掛けて終わり、今年よりの四国八八ヶ所霊場巡拝です。総会と重なってしまつて・・・。勤めは月に二〇日あまりで現役やっています。去年の二月に両肩の腱板断裂で一ヶ月余りをリハビリ休養したけど、今の所元気です。山トレッキング、自転車の遠乗りも継続中です。

八四 柳沢郁政(戸沢)

昨年の夏はサイパンでダイビングを体験しました。まだ行きたいと思っています。

八五 柳沢喜三郎(秘)

健康状態芳しからず。大腿骨骨折の後遺症で長距離の移動が思うようにまいりません。

八六 柳沢俊美(戸沢)

都合が悪く欠席します。

八七 柳沢弘敏(秘)

湘南海岸のウォーキングの毎日です。家庭菜園も楽しんでます。

八八 柳沢 實(秘)

三〇年近く会員として在籍しており、最優先で出席したい総会ですが、今回はどうしても都合がつかず欠席とさせていただきます。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

< 広告欄 >

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。心を込めた手作り料理も宿の自慢です。無料送迎バスで、皆様のすてきな旅をお手伝いします。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422

ろく めい そう  
鹿鳴荘

八九 山本道子(大庭・成沢)

早くにご連絡しなければと思いましたが、申し訳ありませんでした。

九〇 横沢武典(大畑)

皆様にごようしくお伝えお願い致します。元気で居ります。

九一 横沢武久(大畑)

「案内をありがとございます。生憎と当日は所用のため欠席させていただきます。」

九二 横沢義雄(大畑)

残念ですが当日は用事が有り欠席します。皆様によろしくお伝えください。

九三 吉川栄子(中組・武捨)

元気に過ごしております。

九四 若林正春(大畑)

皆様にごようしくお伝え下さい。

### 信州上田観光キャンペーンだより

事務局長 鈴木 邦子

11月29日と30日の二日間 南町田のグランベリーモールにて、上田観光キャンペーンのご案内を頂き本日(29日)行ってきました。

冷たい雨の降る中テントを張り、武将姿で若い人達が力強く真田陣太鼓の演奏をされていたり、上田の物産も幾種か販売されたり、職員の皆さんが寒さにも

負けず PRに力を入れておられました。名物の 野沢菜のおやき(五種類程ありました)を買って帰りました。折角の機会なのに、人出が少なく残念に思いました。明日はよい天気になり大勢の方が足を運んで下さるでしょう。  
楽しみに帰って、野沢菜のおやきを早速食べた。お砂糖が良くきいていて残念ながら甘かった、昔ながらの塩味のきいたおやきが食べたかったと少し残念に思った。



### 「マルメロ」ってなに？

事務局長 鈴木 邦子

先日の、ふるさと訪問旅行で、国道152号をバスにゆられ、長門町を通りかかった時、目にした「マルメロ街道」さて！マルメロとは？

中国が原産地である、私たちに身近な「カリン」との類似種で、バラ科に属し、双方ともに生食は出来ませんが、薬効も食べ方も同じで、果実酒やジャム等沢山使い道があるそうです。

因みにマルメロの花は、ほのかな紅色で、実には沢山の絨毛がある、カリンの花は淡紅色で5弁の花びらで、実はツルツルとしている。どちらも実の色は黄色で形もほぼ同じとの事です。



<広告欄>

#### 東京真田町の会

顧問 三井 芳郎

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 11510

☎ 0268-73-2616

#### 貿易物流研究所所長

東京真田町の会

顧問 小林 孝雄

(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5

☎ 045-843-8041

## ～会員消息～ (敬称略)

### <入会>

一之瀬和夫 〒252-0215 神奈川県相模原市中央区氷川町 4-10 (長・大日向)  
倉島 峰子(鈴木) 〒279-0012 千葉県浦安市入船 6-8-1202 (長・横尾)  
坂口 典和 〒272-0144 千葉県市川市新井 1-24-10-101 (長・真田)  
長野たみ子 〒189-0014 東京都東村山市本町 4-16-509 (長・菅平)

### <住所変更>

川上 年美(宮崎) 〒166-0012 東京都杉並区和田 1-10-15-201 (長・菅平)  
高畑 悟郎 〒284-0015 千葉県四街道市千代田 3-6-6  
クローバーハイツ 102 (傍陽・大庭)  
堀内 勝 〒389-0602 長野県埴科郡埴城町中之条 1297-2 (傍陽・下横道)

### <住所変更・改姓>

長田ムネ子(矢島・佐藤) 〒113-9-0021 東京都文京区本駒込 5-48-5 (長・真田)

### <退会>

長い間、会にご協力くださり有難うございました。くれぐれも健康にご留意ください。  
風戸 行子 金子 吉巳 小林 勝美 小山 藤子 高木 治子 高寺 森雄  
高遠ふじ子 三井 信 武捨 宣夫 武捨 久雄 山宮 敏男 山本 美江  
横沢美智子

### <逝去>

会員一同、心よりご冥福をお祈りいたします。  
倉島今朝二 倉持 信郎 堀内 幹本 堀籠 道子 三井 平茂 望月 正幸  
柳沢 義祝

### <転居先不明>

小林 芳治

### <受信辞退>

青柳 充紀

## 年会費増額をお願い

東京真田町の会 会長 山口 元彦

皆様、会の運営につきましては日頃よりたいそうお世話になっており、心より感謝申し上げます。

ところで、当会の会費は、創立時に年1000円と決め、以来二十数年間そのままになっています。その間に、物価の上昇、消費税の導入などにより費用額が増加し、他方、補助金額が漸減して当初の6割になり、また、会員数の減少により会費収入も減り、景気がよくないため広告収入も激減しています。

由緒ある東京真田町の会を存続発展させるため、新しい企画や会員を増やす努力をしようと思っておりますが、そのための費用も思うに任せない状況です。

また、会誌「日本ダボス」は、真田町や上田市の様子、会員の近況などを伝える記事と地元の写真が掲載されて好評であり、会員のほかに、真田地域の全家庭及び上都市の公的施設などにも配布し、当会の存在と活動を広く広報するものとなっています。しかし、その発行には多額の費用がかかり、このままでは、従来のような内容・体裁ともに充実した日本ダボスの発行を続けることも困難な状況になっております。

そこで、今年度は役員一同が広告募集や寄付要請の努力をしておりますが、同時に、基本的な財源である会費について、増収を図ることも必要です。他の同様の会はほとんどが年会費2000円となっており、会費額が年1000円のままでは、広告依頼や補助金の増額をお願いするうえでも、やりにくい状況です。

つきましては、物価上昇、年金減額というような状況の中で誠に申し訳ございませんが、会費額を500円増額して年1500円にさせていただきたく存じます。そうなっても、振込みの場合、手数料を会負担にしていますので、その分目減りいたします。

次回総会において、正式な議題とさせていただきますが、皆様にとって重大な事柄ですので、ここにあらかじめお知らせ申し上げる次第です。

これに関するご意見は次回総会で伺いますが、総会までの間にも、会長あるいはご存知の役員までお申し越しくださいますようお願い申し上げます。

## 平成 25 年度 決算報告書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費収入	285,000	220,876	総会懇親会費	500,000	353,001
総会懇親会費収入	450,000	383,000	会報発行費	550,000	469,000
上田市補助金	300,000	300,000	事業費	90,000	70,000
広告収入	250,000	153,940	事務通信費	80,000	65,982
寄付金等収入	60,000	10,000	印刷費	20,000	6,610
利息等雑収入	50	44	会議費	90,000	92,127
			渉外費	70,000	47,850
			交通費	70,000	24,360
			雑費・手数料	75,000	34,191
			予備費	60,368	0
当期収入合計	1,345,050	1,067,860	当期支出合計	1,605,368	1,163,121
前年繰越額	260,318	260,318	次期繰越額		165,057
合 計	1,605,368	1,328,178	合 計	1,605,368	1,328,178

上記の通り収支決算報告いたします。平成 26 年 3 月 31 日 会 計 金子 誠 ㊟

上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監 事 深町 共栄 ㊟

監 事 堀内 幸 ㊟

### 平成 26 年度事業計画

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第 27 回総会及び懇親会の開催（平成 26 年 5 月 25 日）</li> <li>② 会報「日本ダボス」第 27 号の発行</li> <li>③ 広報紙「しらかば通信」の発行</li> <li>④ ホームページの運営</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 会員旅行会・ゴルフ会・マレットゴルフ会等会員相互の親睦をはかる行事の実施</li> <li>⑥ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問・ふるさと特産品の宅配協力 各種文化・スポーツ行事の実施と参加</li> <li>⑦ その他</li> </ul> |
|---|---|

### 平成 26 年度収支予算

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

### 「東京真田町の会役員名簿」

（平成 26 年 12 月 1 日現在）

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
通常年会費収入	275,000	総会懇親会費	450,000
総会懇親会費収入	430,000	会報発行費	500,000
上田市補助金	300,000	事業費	90,000
広告収入	200,000	事務通信費	70,000
寄付金等収入	60,000	印刷費	25,000
利息等雑収入	44	会議費	95,000
		渉外費	50,000
		交通費	40,000
		雑費・手数料	60,000
前年度繰越金	165,057	予備費	50,101
収入合計	1,430,101	支出合計	1,430,101

職 名	氏 名	
会 長	山口元彦	
副 会 長	飯島慶三郎 柴田小夜子 堀内寿美	
理 事	監 事	深町共栄 荻原啓治
	事務局長	鈴木邦子
	会計理事	金子 誠
	堀内 政 鈴木邦子	花岡孝雄 武捨衛人
顧 問	小林孝雄 清水清晴 三井芳郎 塩沢和政 中島正江	

次回総会の予告

平成27年の総会、懇親会は5月24日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催の予定です。大勢の会員の皆様のご出席を頂きますようお願い申し上げます。詳しくは4月に発行の「しらかば通信」第19号でお知らせいたします。

年会費納入のお願い

平成26年度の年会費千円を未納の方は、同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。振り込み料は無料です。会員の自然減で会の資金繰りが苦しくなっており近い内に会費の値上げをお願いしなければならぬ状況です。宜しくご協力をお願い致します。

広告御礼

日本ダボス第27号の発行にあたり広告をお願い致しましたところ、大勢の皆様のご協力を頂きました。大変有難く、厚く御礼申し上げます。

新会員ご紹介のお願い

会員の皆様にはいつも会の運営にご協力頂き誠に有難うございます。会員相互の出会いと親睦、そしてふるさと上田市(真田町)との交流の親密化を目的に誕生した東京真田町の会も、二六年余りの歴史を刻み先輩役員のご努力、皆様のご協力、そして旧真田町並びに新生上田市当局のご支援により一人前の同郷会に成長する事が出来ました。

この東京真田町の会が更に充実し、発展し続けるためには会員の増加が何にもまして重要と思われまふ。皆様の友人、知人の中に東京真田町の会の会員に推薦できる方が居られましたら、会長または役員まで是非ご一報頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

連絡先 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町二-191-6

☎ 03-5215-1511 FAX 番号 03-5215-1512

☎ 042-383-6555

編集後記

『日本ダボス第二七号』を本日お届け致します。最初に貴重な原稿をお寄せ頂いた皆様に心から御礼を申し上げます。

今年は東日本の災害復旧に手こずっているさに、生まれて初めての木曾の御嶽山の噴火、広島の豪雨による土石流：いづれも50人以上の死者が出る被害を受けており、自然災害に対する人間の対応力の脆弱さを改めて痛感させられている次第です。

私も現職を引退して間もなく15年、来年は傘寿を迎えることになり、日本ダボスの編集担当も干支を一巡して13年目になりました。正に光陰矢のごとしを実感させられておりますが、予測寿命の95歳まではとにかくボケずに頑張りたいとゴルフではありませんが気(ヘッド)・殆ど無い金(アイアン)・歳相応に老けた体を使うことに努力を重ねております。が、傘寿と言えば相当な年寄りなので日本ダボスの編集もどなたかお願いしておかなければと、後継者を募集中ですのでよろしくお願いいたします。

一年余り先ですがふるさと出身の英雄『真田幸村』の大河ドラマ『真田丸』も始まります。わがふるさと「真田町」が全国ネットに乗るのです。今からワクワクしておられる方も大勢いらっしゃる事と思ひます。

末筆で恐縮で御座いますが、上田市議会事務局の片岡文夫局長様・金井浩一次長様並びに真田地域自治センター地域振興課の伊藤岳彦様、お忙しい時期に格別なご協力を頂き大変有難う御座いました。また、スタッフの皆さん大変お世話になりました。(武捨衛人記)

< 広告欄 >

工房閉鎖に付、オートマタ(西洋からくり人形)を原価販売(65%引き)いたします。ご興味の有る方は下記へ！！  
いくさ工房：鈴木郁夫(横尾出身)

〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内容 4-13-7

TEL・fax : 048-864-0295

Mail : s-ikusa@dab.hi-ho.ne.jp

http://www.dab.hi-ho.ne.jp/s-ikusa/



# 祝 東京真田町の会 一会報 27号

## ROGOVSKI

ロシア料理 渋谷ロゴスキー

URL : <http://www.rogovski.co.jp/>  
E-mail : [rogovski@rogovski.co.jp](mailto:rogovski@rogovski.co.jp)

ゆったりとしたくつろぎ

アットホームなやすらぎ

シック&カジュアル

ビルの最上階は最高のロケーション。窓際のお席では  
眼下に渋谷の街並みが広がります。

20~25名様程の着席パーティーに最適なコーナーが  
ございます。是非種々の会合にご利用下さい。

ロシア料理

## 渋谷ロゴスキー

東京都渋谷区道玄坂1-2-2  
渋谷東急プラザ9階

T E L 03 (3463) 3665

F A X 03 (3461) 5084

営業時間 11:00 ~ 22:00 年中無休

ロゴスキー 世田谷区深沢5-5-17

深沢カフェ T E L 03(5706)5922

渋谷ロゴスキーは来年3月に閉店いたします



## TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,  
and excitements more wonderful and much greater

"発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく"

●Mr. Children

●BUMP OF CHICKEN

●ゆず

●ケツメイシ

●RAG FAIR

●melody.

株式会社 トイズファクトリー

顧問 井出 孝光

SUN あなたの街のハウジングパートナー  
STATE

代表取締役

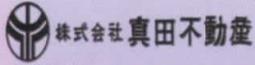
株式会社 サンステイト 最上 忠

東京都知事(6)第58002 社団法人 不動産歩容協会会員  
社団法人 全日本不動産協会会員

〒155-0093 東京都世田谷区上野毛2-7-18

Tel 03-5706-5454 Fax 03-5706-5453

Email: [sunstate@coffee.ocn.ne.jp](mailto:sunstate@coffee.ocn.ne.jp)



電話 03-3620-2511  
FAX 03-3620-2744

☆真田不動産は奇しくも東京真田町の会と同時期の  
昭和63年9月に設立、今日に至っております。

代表取締役社長 堀内 政  
(東京真田町の会理事)

代表取締役専務 堀内 敦司



### 会社概要

商号	株式会社 真田不動産
設立	昭和63年9月28日
所在地	東京都足立区綾瀬6丁目30番8号
登録番号	東京都知事(2)第87786号
電話	03-3620-2511
FAX	03-3620-2744
ホームページ	<a href="http://www.sanada-fudosan.com">www.sanada-fudosan.com</a>
代表者	取締役社長 堀内 政
事業内容	不動産の売買並びに収益物件の賃貸・管理(自社所有)
資本金	85,850,000円
取引金融機関	三井住友銀行、城北信用金庫、筑波銀行、滝野川信用金庫

本社(インペリアル)各番路・式番路



真田勝ちどきビル跡地に建設  
53階建てトライスター型タワーマンション  
(平成28年末竣工予定)

## 現代舞踊内海流 舞踊教室

東京真田町の会顧問  
中島正江  
(土沢出身)

〒158-0091 東京都世田谷区中町 4-35-17E  
☎ 03-3702-1385

## 東京真田町の会

顧問 塩沢和政  
(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37  
☎ 090-7225-6491

## 東京真田町の会

監事 深町共榮  
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上芝町西 5-7-82  
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7  
☎ 090-7225-6491

東京真田町の会に入会しよう！  
旅行もあるよ！



広告担当  
飯島慶三郎  
堀内 寿美  
柴田小夜子  
☎ 03-3467-4035

# ふるさとの秋色



色鮮やかなサルビアがどこまでも続くふるさとの路傍…帰郷心をそそります



秋色の後輩の学び舎・真田中学とふるさとの山・東太郎

写真提供：広報部 深町共栄監事

日本ダボス 平成26年12月27日発行  
発行 東京真田町の会 会長 山口 元彦  
〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6

TEL 03-5215-1511  
Fax 03-5215-1512

編集委員 武捨 衛人 深町 共栄 一之瀬和夫

印刷 上田市・精巧堂アオヤギ印刷